

鍋谷 暁

希望

マイナンバーカードの普及

質 マイナンバーカードの交付率が本年10月末時点で全国平均を下回っているが、交付率向上のためにこれまで行ってきた取組と今後行う取組はあるか。

答 申請受付の際に、顔写真の無料撮影等サポートを実施し、交付時来庁方式、申請時来庁方式、事業所等への出張申請受付方式を導入している。月2回、日曜日に本庁舎で休日窓口を開設し、今年度は、毎週土日に商業施設等で出張申請サポート事業を展開している。12月4日から11日までカード普及強化週間を設け、本庁舎の窓口開設時間を拡充して対応する。

不妊治療費の保険適用拡大

質 本年4月から不妊治療費の保険適用範囲が拡大されたが、本市における効果、影響をどのように考えているか。

答 今年度における助成は11月末時点で3件のため、現時点での評価は難しいものと考えている。

その他の質問事項

- 災害時のアレルギー疾患対応
- マイナンバーカードの活用による行政サービス拡大
- 不妊治療費自己負担分の全額助成

藤田 拓翔

平政・公明党

中小零細企業に対する補助金

質 各補助金は雇用従業員数10人以上という条件があり、市内事業所数の約2割にすぎない。残された約8割の事業所に対する補助制度は考えられないか。

答 補助金は、政策目的を効率的に実現するために創設されるものであり、目的に対する費用対効果等を勘案しながら要件を検討する必要がある。中小企業向けの補助金制度についても、費用対効果を踏まえた制度設計が必要であるが、目的に沿った多くの事業所を対象とできるように、要件設定について検討したい。

利用が少ない路線バスの代替

質 6月議会での同僚議員の一般質問に、市長から地域住民のニーズや既存路線バスの運行事業者の意向等を踏まえ、利用が少ない路線バスの代替を検討すると答弁があったが、その後の検討状況は。

答 現在、南部地区では昇平岱・鳳凰岱地区への拡大を検討している。また、11月28日付で路線バスの運行事業者より、今後の路線バスの運行について要望があったことから、大柄・刈橋線をはじめとした利用の少ない市単独補助路線について、運行事業者等と協議しながら、デマンド型乗り合いタクシーへの代替等の検討を進めている。

その他の質問事項

- 移住の可能性が高い方へのアプローチは
- ふるさと帰りの流れを推進する考えは
- 奨学金の審査基準を緩和する考えは

小野 立

市民ネットフック
(市民の声、大河の会 能代民政会)

物価高、コロナ禍に応じた経済対策

質 世界的な物価高騰が、地域の家計と企業を直撃している。例えば東北電力は来年度から3割以上値上げする。コロナ禍によるマイナ影響は今後も続く。5年度予算での対策が不可欠だが市の認識は。

答 物価高騰やこれまでの感染拡大に伴う市民の行動様式の変化が、市民生活や地域経済へ与える影響は大きいものと認識している。物価高騰対策や、新型コロナウイルス感染症への対応については、全国共通の課題であることから、今後も、国、県の動向等を見極めながら、必要に応じて補正予算等により対応していきたい。

水田活用の直接支払交付金見直し

質 今回の見直しで、この地域では大豆とそばの生産者が特に大きな打撃を受ける。今後、耕作放棄地が増えるだろう。市長自ら地域の先頭に立って、政府与党に対し異を唱えるべきだ。市長の認識は。

答 これまで転作してきた農地への水稲の作付は、多くの費用と労力がかかることや、交付対象水田から除外された場合、耕作放棄地の増加が懸念されることから、水張りが行われない水田も交付対象とするよう運用方針を見直すことを、秋田県市長会、東北市長会を通じて、国、政府与党に要望してきた。今後も要望を継続していきたい。

その他の質問事項

- 資料館・展示館の検討機関の早期設置を
- 国の制度を使ったデジタルミュージアム
- 今冬の除排雪に昨冬の反省を生かすには